

平成 29 年度（平成 28 年実施）進学選択に係る『履修の手引き』の変更について

平成 29 年度（平成 28 年実施）進学選択について、入学時に配付された『履修の手引き』記載の内容が一部変更となります。変更内容の要点は下記のとおりです。詳細は別紙を参照してください。

記

1. 進学選択の日程（pp. 50-51）【別紙 1】

- 6 月下旬 2 S1 ターム成績確認，第一段階・第二段階進学志望登録
 注）第一段階，第二段階の進学志望登録は同時に行います。
 第一段階志望集計表（第一次）発表
 8 月中旬 第一段階・第二段階進学志望変更登録
 8 月下旬 第一段階進学内定者発表
 第二段階志望集計表確認，第二段階進学志望変更登録
 9 月上旬 第二段階進学内定者発表
 第三段階進学志望登録
 9 月中旬 第三段階進学内定者発表
 再志望登録
 9 月下旬 再志望進学内定者発表

2. 「進学選択が可能となる条件」（p. 8, 53）【別紙 2，別紙 3】

2 S1 タームで「英語一列①」を他クラス聴講中，または 2 S セメスターで「英語二列 W」，「初年次ゼミナール文科」，「初年次ゼミナール理科」，「力学」，「熱力学」，「化学熱力学」のいずれかを他クラス聴講中の場合（p. 8（注 2），（注 3）），これらの科目については進学選択が可能か否かの判定を 2 S セメスター・2 S2 ターム終了時点の成績により再度行います。ただし，進学選択に用いる平均点計算には，以下のとおり仮の点数を算入します。

「英語一列①」，「英語二列 W」：

40 点または他クラス聴講前の元の成績のどちらか高い方

「初年次ゼミナール文科」，「力学」，「熱力学」，「化学熱力学」：

他クラス聴講前の元の成績

※仮に与えられる点数は、あくまでも進学選択用であることに注意してください。

※「初年次ゼミナール理科」は合格・不合格のみの評価による科目なので進学選択に使用されません。

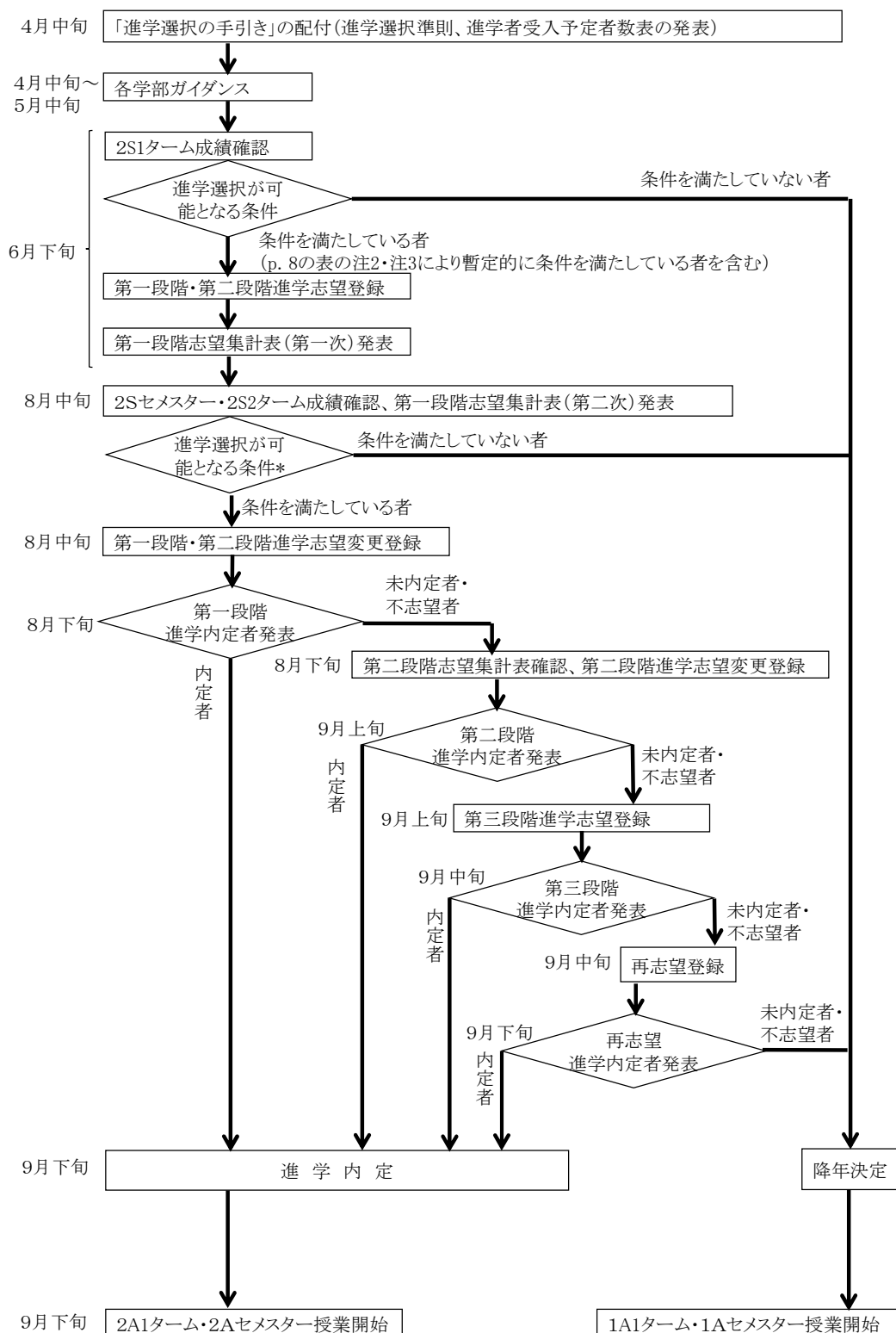
3. 要求科目の取扱い（p. 49, 52）【別紙 4】

2 S2 タームないし 2 S セメスターに要求科目を設けている進学単位は，第一段階・第二段階進学志望登録（6 月下旬）では，その科目を修得することを条件として志望登録することができますが，2 S セメスター・2 S2 ターム終了時点で修得できなかった場合は，第一段階・第二段階進学志望変更登録（8 月中旬）以降，志望登録することはできません。

4. 要求科目・要望科目の変更（医学部医学科）（p. 84, 87）【別紙 5】

	要求科目	要望科目
医学部医学科	＜文科全類，理科一類＞ 理科二・三類の「生命科学 I，生命科学 II」から 1 科目（2 単位） ＜全ての科類＞ 展開科目「自然科学ゼミナール」「PBL」 （2 単位）【削除】	要望科目を設けない。 ＜理科三類＞ 展開科目「自然科学ゼミナール（医学）」 （1 単位）【追加】

(1) 進学選択の日程と手順の概要（予定）【フローチャート全体を以下に差替え】



* 「英語一列①」を2S1タームに他クラス聴講中、または「英語二列W」「初年次ゼミナール文科」「初年次ゼミナール理科」「力学」「熱力学」「化学熱力学」のいずれかを2Sセメスターに他クラス聴講中の場合のみ、これらの科目については2Sセメスター・2S2ターム終了時点の成績により進学選択が可能か否かの判定を再度行う。ただし、進学選択に用いる平均点計算には、以下のとおり仮の点数を算入する。

「英語一列①」、「英語二列W」：40点または他クラス聴講前の元の成績のどちらか高い方

「初年次ゼミナール文科」、「力学」、「熱力学」、「化学熱力学」：他クラス聴講前の元の成績

※「初年次ゼミナール理科」は合格・不合格のみの評価による科目なので進学選択に使用されない。

仮に与えられる点数は、あくまでも進学選択用であることに注意すること。

- (2) 平成29年度進学選択の詳細は平成28年4月中旬頃に配付される『平成29年度進学選択の手引き』により発表されるので、平成29年度の進学を志望する学生（留年生含む）は、それによって手続き等を進めること。

以下に学生のとるべき手続きと、進学選択の概略を項目別に説明する。

① 進学選択手続きの日程

進学選択手続きの日程についてはその年度の掲示、UTask・Webおよび『科目紹介時間割表（裏表紙）』等で確認すること。

ただし、変更になる場合もあるので掲示等には十分注意すること。

② 進学志望・不志望の登録

2年生は、第一段階から第三段階まで段階毎の定められた期日にUTask・Webで進学志望・不志望登録（以下「志望登録」という）をしなければならない。

「志望登録」にあたっては、特に次の点に注意する必要がある。

- 1) 2年生は必ず「志望登録」をすること。何らかの理由により、その年度に進学を志望しない学生は、「不志望登録」をすること。
- 2) 前年度に進学学部が内定しその後の留年・休学によって内定が取り消された者も、あらためてその年度の「志望登録」をしなければならない。
- 3) 進学志望登録は、段階毎に行う第一段階・第二段階の登録を同時に行う。

第一段階では、第1志望のみ単願で登録することができる。

第二段階では、第1志望のみ単願または志望学部内で複数の進学単位がある場合は、複願で登録することができる。

第二段階までで進学内定していない学生は、第三段階の登録を行う。

第三段階では、第1志望から第3志望それぞれで単願または志望学部内で複数の進学単位がある場合は、複願で登録することができる。第三段階の第1志望から第3志望までの登録は一度にまとめて行う。

③ 進学志望変更の登録

第一段階では、6月上旬下旬頃に「志望登録」を集計し、1-A 2 S1セメスタータームまでの成績による、第一段階の各進学先（学部・学科等）別の志望者数・進学可能最低点を発表する。さらに、6月8月下旬中旬頃、2 Sセメスター・2 S1S2ターム成績表確認時に、平成26年度以前入学者の2 Sセメスター・2 S1S2タームまでの成績によるを反映した第一段階の各進学先（学部・学科等）別の第1志望者数・進学可能最低点を発表する※。

※平成27年度入学者については2 S1タームまでの成績が、平成26年度以前入学者については2 Sセメスター・2 S2タームまでの成績が、進学選択に用いる平均点計算に算入される。

第二段階では、7月8月中旬下旬頃、第二段階の各進学先（学部・学科等）別の第1志望者数・進学可能最低点を発表する。

第一段階、第二段階において、成績や発表された志望者数等から、途中で進学志望先の変更を希望する学生は、「進学志望変更」を段階毎の定められた期日に登録する必要がある。

第三段階では、8月上旬頃、第三段階の各進学先（学部・学科等）別の第1志望者数・進学可能最低点を発表する。志望集計表の公表は行わず、進学志望変更はできない。

成績や発表された志望者数等から、途中で進学志望先の変更を希望する学生は、「進学志望変更」を段階毎の定められた期日に登録する必要がある。

いずれも登録期間を過ぎたものは受~~け~~付けないので日程や締切時刻等には十分注意すること。

4. 進学選択が可能となる条件と前期課程修了要件

(1) 進学選択が可能となる条件

2年次に実施される進学選択が可能となるためには、1 S1タームから2 S1タームまで在学したうえで、**2 S1ターム終了時**までに、下記の表1「進学選択が可能となる条件」に示す条件を満たさなければならない。また、2年次の4～8月の期間中に休学した学生は、その年度の進学選択はできない。

表1 進学選択が可能となる条件

文科一類生 および 文科二類生	外国語	既修外国語	5単位の成績の平均が40点以上(注1)(注2)
		初修外国語	6単位の成績の平均が40点以上
	初年次ゼミナール文科		2単位の取得(注3)
	社会科学		4単位の取得
	人文科学		2単位の取得
	総合科目		11単位の取得(L系列の5単位を含む)
文科三類生	外国語	既修外国語	5単位の成績の平均が40点以上(注1)(注2)
		初修外国語	6単位の成績の平均が40点以上
	初年次ゼミナール文科		2単位の取得(注3)
	社会科学		2単位の取得
	人文科学		2単位の取得
	総合科目		13単位の取得(L系列の5単位を含む)
理科一類生	外国語	既修外国語	5単位の成績の平均が40点以上(注1)(注2)
		初修外国語	6単位の成績の平均が40点以上
	初年次ゼミナール理科		2単位の取得(注3)
	自然科学	基礎実験	3単位の取得(注4)
		数理科学	6単位の取得
		物質科学	6単位の取得(「力学」の2単位および「熱力学」の2単位を含む(注3))
	総合科目		8単位の取得(L系列の2単位を含む)
理科二類生 および 理科三類生	外国語	既修外国語	5単位の成績の平均が40点以上(注1)(注2)
		初修外国語	6単位の成績の平均が40点以上
	初年次ゼミナール理科		2単位の取得(注3)
	自然科学	基礎実験	3単位の取得(注4)
		数理科学	5単位の取得(任意選択科目の単位を除く)
		物質科学	6単位の取得(「力学」の2単位および「化学熱力学」の2単位を含む(注3))
		生命科学	2単位の取得
	総合科目		8単位の取得(L系列の2単位を含む)

(注1) 英語・日本語以外を既修外国語として履修する場合は「6単位の成績の平均が40点以上」となる。

(注2) 英語を既修外国語として履修する場合、「英語一列①」を2 S1タームに他クラス聴講(p. 39)して、~~いなければならない場合、または「英語二列W」を2 Sセメスターに他クラス聴講中であれば、当該科目の成績として、40点2 Sセメスター終了時点の成績または実際の成績(他クラス聴講前の元の成績)のどちらか高い方を平均点に算入する。~~を含めた平均が40点以上であれば、進学選択が可能となる。ただし、進学選択において進学先が内定したとしても、2 Sセメスター終了時に当該科目の成績を含めた平均が40点未満の場合は、進学内定は取り消され、降年(p. 43)することとなる。

(注3) 2 S1ターム終了時点で「初年次ゼミナール文科」「初年次ゼミナール理科」「力学」「熱力学」「化学熱力学」の単位を未取得であっても、2 Sセメスターに当該科目を他クラス聴講(p. 39) 中であれば、単位を取得すれば、進学選択が可能となる。ただし、進学選択において進学先が内定したとしても、2 Sセメスター終了時に当該単位を取得することができなければ、進学内定は取り消され、降年(p. 43)することとなる。

(注4) 1 Aセメスターの実験科目(理科一類生は「基礎実験I」「基礎実験II」、理科二・三類生は「基礎物理学実験」「基礎化学実験」)の単位を取得していない場合でも、当該科目の単位を取得できなかった理由(病気療養など)が妥当と基礎実験委員会で認められ、当該科目を2 Aセメスターで補修(p. 41)可能と同委員会で判断した場合は、理科一類生は「基礎実験III」、理科二・三類生は「基礎生命科学実験」の1単位を取得していれば、進学選択が可能となる。

4. 進学選択に用いられる評点

(1) 進学選択に使用する平均点に算入される科目・単位および重率（単位あたりの重み）

- ① 履修した科目のうち成績評価が評点で行われる科目の評点×単位数を重率「1」で平均に算入する。
- ② 前記①において、成績評価が不可の科目はその評点を、欠席の科目は0点を平均に算入する。
ただし、「英語一列①」を2 S1タームに他クラス聴講していれば、または「英語二列W」を2 Sセメスターに他クラス聴講中であれば、進学選択の選考に際してのみ、当該科目の仮の成績として40点または他クラス聴講前の元の成績のどちらか高い方を平均点計算の際に算入する。仮に与えられる点数は、あくまでも進学選択用であることに注意すること。
- ③ 合格または不合格の評価による科目（初年次ゼミナール理科、展開科目の社会科学ゼミナール、主題科目、文科生が基礎実験を履修した場合）は、平均に算入されない。
- ④ 2 S1タームに開講される基礎科目-自然科学-物質科学-「物性化学」の試験を不測の事態により欠席した場合、進学処置願（p. 42）の手続きをすれば進学選択に限って、仮の点を与えて平均を計算する。
- ⑤ 2年次終了時に留年（p. 43）した学生が、2 Aセメスターに履修した基礎科目、総合科目、展開科目の単位は、次年度の進学選択の際、平均に算入する。
- ⑥ **留年・降年した場合、留年・降年以前に履修していた欠席の科目については、進学選択の平均点計算の際に算入しない。**

(2) 進学選択に使用する平均点の種類

① 「全履修科目単純平均」

全ての学部・学科等で適用される「全履修科目単純平均」は、2 S1タームまでに履修した単位数と成績から次の式で算出する。

「全履修科目単純平均」

= { 2 S1までに履修した科目のうち成績評価が評点で行われる科目の（評点×単位数）の総和 }

÷ （2 S1までに履修した科目のうち成績評価が評点で行われる科目の単位数の総和）

② 「重率および履修点」

一部の学部・学科で用いる重率および履修点は、全履修科目単純平均を基として次のいずれかの変更を行ったものである。

- 1) 進学先が指定する科目の成績にそれぞれ指定された重率をかけて算出する。
- 2) 進学先が指定する科目を修得したことに對し、指定された履修点を加点する。
- 3) 進学先が指定する科目の成績にそれぞれ指定された重率をかけて算出し、さらに、進学先が指定する科目を修得したことに對し、指定された履修点を加点する。

重率および履修点を用いる学部・学科等、および詳細については、「別表 8 学部・学科別重率・履修点一覧」（p. 88）を参照すること。

なお、この算出法は平成29年度進学選択（平成28年実施）に適用され、それ以降は変更となる場合もあるので、UTask-Webや掲示板で確認をすること。

多くの学部・学科では、そこでの専門教育の基礎としての必要度が高く、専門科目の授業の前提となる前期課程の科目を「要求科目」、「要望科目」として指定している。

別表 6 学部・学科別要求科目一覧 (p. 82)

別表 7 学部・学科別要望科目一覧 (p. 85)

要求科目は当該学部・学科等を志望するために、2 S1ターム終了時までには修得（単位取得）しておかなければならない科目である。2 S2タームないし2 Sセメスターに要求科目を設けている進学単位は、第一段階・第二段階進学志望登録（6月）の時点ではその科目を修得することを条件として志望登録することが出来るが、2 Sセメスター・2 S2ターム終了時点で修得出来な~~い~~かった場合は、その時点で内定が取り消しとなる志望登録出来なくなる（p. 52）。

要望科目は当該学部・学科等が要望するものであるが、要求科目とは異なり、進学のための必須条件ではない。

学生は2 S1タームの半ばまでに、ガイダンスや進学情報センターの提供する様々な情報などによって各学部・学科の内容を詳しく知るとともに、自分自身の志望や適性、履修・修得した科目と単位、成績などを十分考慮した上で、自分の進学したい学部・学科等を選んで志望を登録することになる。

2. 進学選択の条件等について

毎年の進学選択の条件等は2年次の4月中旬頃に配付される『進学選択の手引き』において発表される。

3. 進学選択の手続きと方法

次頁の内容は、平成27年度入学者に対して平成28年6月から手続きが開始される「平成29年度進学選択」に関し、現時点で予定されている日程と手順の概要である。手続きと方法および日程は変更となる場合があるので、平成28年4月中旬頃に配付される『平成29年度進学選択の手引き』を必ず確認すること。

(3) 進学選択の対象となる条件

- ① 進学選択の対象となる条件については、p. 8を参照すること。
- ② **志望する学生が、当該学部・学科等の要求科目を2S1ターム終了時点で修得していない場合は、当該学部・学科等を志望することはできない。2S2タームないし2Sセメスターに要求科目を設けている進学単位は、第一段階・第二段階進学志望登録（6月）の時点では、その科目を修得することを条件として志望登録することが出来るが、2Sセメスター・2S2ターム終了時点で修得出来なかった場合はその時点で内定が取り消しとなる第一段階・第二段階進学志望変更登録（8月）、第三段階進学志望登録（9月）において当該学部・学科等を志望することはできない。**
- ③ 上記の条件をみたしていても、前期課程修了に必要な科目・単位を修得していない場合には、進学内定後の2A1ターム以降に修得する必要がある。2A1ターム以降に専門科目の履修が困難な場合も起こるので、2Sセメスターまでに修得しておくことが望ましい。
- ④ 前期課程修了要件（p. 9）を満たさなかった場合には、内定が取り消される。

(4) 第一段階の進学選択

第一段階で、受け入れ予定数の7割を確定する。

第一段階では、第1志望のみ単願で登録することができる。

第一段階の指定科類枠の定数が充足されなかった場合、不足数は第二段階の指定科類枠の定数に加える。ただし、不足数を第一段階の全科類枠の定数に加える進学単位もあり、その場合は各学部の進学受け入れ予定数の表にその旨の補足説明が記される。

(5) 第二段階の進学選択（第一段階で進学内定していない学生のみが対象）

第一段階終了後に、その時点での第二段階の指定科類枠および全科類枠の定数を公表する。

第二段階では、第1志望のみ単願または志望学部内での複願で登録することができる。

(6) 第三段階の進学選択（第二段階までで進学内定していない学生のみが対象）

第二段階終了時に進学定数を満たさなかった学科等によっては、第三段階を行うことがある。

第二段階終了後に、第三段階を行う学科等と指定科類枠および全科類枠の定数を公表する。

第三段階では、第1志望から第3志望それぞれで単願または志望学部内での複願で登録することができる。第1志望から第3志望までの登録は一度にまとめて行う。

第三段階では、まず第1志望の進学選択を行い、第1志望で内定しなかった志望者および第1志望で定数が充足されなかった学科等のみで第2志望の進学選択を行う。以降、第3志望も同様である。

(7) 再志望（第三段階までで進学内定していない学生のみが対象）

第三段階終了時になお定数に達しない学科等がある場合、再志望を募る場合がある。第三段階までで進学内定した学生は、いかなる理由があっても再志望をすることはできない。

再志望の結果を含めて、志望する進学先のいずれにも進学内定しなかった学生は2A1ターム・2Aセメスター開始前の時点で自動的に降年（p. 43）し、1A1ターム・1Aセメスターの科目を履修することになる。

(8) 進学の設定

進学が内定しても、教養学部前期課程の各科類における修了要件（p. 9）を満たさない場合は進学できない。

教養学部前期課程の各科類における修了要件を満たさなかった場合、進学内定は取り消されて、留年（p. 43）が決定する。この場合の留年者は、翌年度の進学選択に際して、同じ学部・学科への進学を志望する場合でも、あらためて「進学志望登録」をしなければならない。

平成 27 年度入学

医学部医学科 進学希望者 各位

「履修の手引き」 84 ページ

医学部医学科の要求科目について、下記のとおり修正がありますのでお知らせいたします。

記

【修正前】

医	医学	< 文科学類、理科学類 > 理科学二・三類の「生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」から 1 科目（2 単位） < 全ての科類 > 展開科目「自然科学ゼミナール」「PBL」（仮称）（2 単位）
	健康総合科学科	要求科目を設けない。



【修正後】

医	医学	< 文科学類、理科学類 > 理科学二・三類の「生命科学Ⅰ、生命科学Ⅱ」から 1 科目（2 単位）
	健康総合科学科	要求科目を設けない。

全ての科類からの進学者に課していた「展開科目「自然科学ゼミナール」「PBL」（仮称）（2 単位）」は、要求科目から削除します。

平成27年度

理科三類入学者 各位

「履修の手引き」 87ページ

医学部医学科の要望科目について、下記のとおり修正がありますのでお知らせいたします。

記

【修正前】

医		要望科目を設けない。
---	--	------------

↓

【修正後】

医	医学	<理科三類> 展開科目「自然科学ゼミナール（医学）」（1単位）
	健康総合科学科	要望科目を設けない。

「展開科目「自然科学ゼミナール（医学）」（1単位）」を、進学選択における要望科目とします。